

# なにやっぺんだよ!

## 第6回 まだあるぞ! メールで気を付けること

先月号で「1行が長いメールを送らないように、各行は70桁を超えないようにするべきだが、よいツールがないので手で改行して字詰めを整えている」と書いたところ、マッキントッシュでは「Comment MakerFKEY」というツールが最適であると読者から電子メールをいただいた。確かにこれは便利だ。日本語の禁則はもちろん、行頭の引用記号(>)まで正しく処理してくれる。NIFTY-ServeのFMACUSのライブラリ(6番の0428)に登録されているので試してみてほしい。ウィンドウズには「秀丸」というテキストエディターのマクロがあるという情報もいただいたが、これはファイル全体を改行してしまい、相手の引用まで改行されてしまうのでちょっと不便と感じる。今後も良いソフトがあったら教えていただきたい。

さて、先月に引き続いて今月もメールの話だ。メールを扱う上で気を付けなければならないことはまだまだある。

① ② いつのまにか変換されてしまうものはまだある

メールにおいて改行されてしまうのは本文だけでは限らない。1つはサブジェクト<sup>①</sup>、もう1つは送り主である自分の名前だ。「MIME(マイム)<sup>②</sup>」という方法が定められてから、日本語の本名や日本語のサブジェクトを自由に使用できるようになったが、それでも多少困る場合がある。

MIMEで変換されたあとでもやはり長いサブジェクトは問題になるため、1行が長くないようにサブジェクトを複数行に分割してから送出するソフトウェアがある(マッキントッシュのユードラ<sup>③</sup>1.3.8.5など)。この分割されたサブジェクトをもとの漢字に戻したときに、予期せぬ箇所に半角スペースやタブが入ってしまうメールソフトウェアもある。

というわけで、漢字で長いサブジェクトにするのは避けた方がよい。そもそもメールの件名を短く説明するためのサブジェクトなのだから「次回のたあ!の原稿」程度の長ささがほとんどで、実際上は問題にならないといえる。

- 【脚注】①サブジェクト: 件名を簡潔に伝えるための短い説明。「標題」とも呼ばれる  
 ②MIME:「Multipurpose Internet Mail Extensions」の略(RFC1521,1522)。電子メールの拡張機能のこと。バイナリデータを扱うためのもので、漢字もバイナリデータとして扱えるため日本語が使えるようになる  
 ③本名に「池田たあ!健二」と設定: ユードラなどのほとんどの電子メールソフトウェアの場合、設定項目に「本名」を入力する欄があり、そこで設定した名前がメールのヘッダーに反映される  
 ④SMTPサーバー: メールを送るときに使用するサーバー。プロバイダーに設置してある

① ② 「本名」を書く欄では遊ばないほうが無難  
 次に名前(本名)についてだが、近ごろのメールソフトウェアでは、

From: "池田健二" <iked@impress.co.jp>

という形にする。ここで「池田たあ!健二」と設定<sup>④</sup>すると、

From: "池田たあ!健二" <iked@impress.co.jp>

が送られる。今度は予期せぬ「¥(円記号)」が入ってしまっており、意図したものと違うものが送られてしまっている。

<>() (大なり、小なり、カッコ、ダブルクォート)などの記号は特別な意味があり、本名などの一部として使用するとよくない結果を招く。たとえば、「池田(^\_^;健二)」を本名に設定すると、マッキントッシュの「ユードラJ1.3.8.5」では、

From: ikeda@impress.co.jp (池田(^\_^;健二)

となり、実際にメールを送出すると、受け取る側には

From: ikeda (池田(^\_^;健二))

で届く。最後の「)」が1つ余分についているのが分かるだろう。

① ② 管理者はなにが起きたのか知っている

そして、自分が使用しているプロバイダーのSMTPサーバー<sup>④</sup>の種類によっては、これらの特殊記号の不整合に関して、

Postmaster warning: ikeda@impress.co.jp (=?!ISO-2022-JP?B?GyRCQ1NFRBsoQg==?= (^\_^; =?!ISO-2022-JP?B?GyRCN3JGcxsoQg==?)... Unbalanced '('

というエラーがログとして残ってしまい、自分のメールソフトウェアの設定がよろしくないことがバレしまうこともある。

「名は体を表す」の諺どおり、「www-admin」や「webmaster」などに宛てたメールを真面目に扱ってほしいなら、オアソビの記号など入れず、シンプルに本名だけを設定しておいたほうが印象が良い。メールは送ったら引っ込められないものだ。TPOをわきまえて注意すべき点はきちんと押さえておこう。

Return-Path: <MAILER-DAEMON@proxy.impress.co.jp>  
 Date: Mon, 13 May 1998 01:26:40 +0900 (JST)  
 From: Mail Delivery Subsystem <MAILER-DAEMON@proxy.impress.co.jp>  
 Subject: Postmaster warning: ikeda (池田(^\_^;健二)... Unbalanced '('  
 To: postmaster  
 Auto-Submitted: auto-generated (postmaster-warning)

\*\*\*\*\*  
 \*\* THIS IS A WARNING MESSAGE ONLY \*\*  
 \*\* YOU DO NOT NEED TO RESEND YOUR MESSAGE \*\*  
 \*\*\*\*\*

The original message was received at Mon, 13 May 1998 01:26:35 +0900 (JST)  
 from impress498.impress.co.jp [192.218.91.242]

----- Transcript of session follows -----  
 553 ikeda (=?!ISO-2022-JP?B?GyRCQ1NFRBsoQg==?= (^\_^; =?!ISO-2022-JP?B?GyRCN3JGcxsoQg==?)...  
 Unbalanced '('  
 553 ikeda (=?!ISO-2022-JP?B?GyRCQ1NFRBsoQg==?= (^\_^; =?!ISO-2022-JP?B?GyRCN3JGcxsoQg==?)...  
 Unbalanced '('  
 553 ikeda (=?!ISO-2022-JP?B?GyRCQ1NFRBsoQg==?= (^\_^; =?!ISO-2022-JP?B?GyRCN3JGcxsoQg==?)...  
 Unbalanced '('

たあっ!  
 ワルサはバレてるぜ!



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)